

## 「持続可能な農業を目指して」

的な農業を目指して

A black and white portrait of a man with a shaved head, wearing a dark suit jacket, a white shirt, and a dark tie. He is looking directly at the camera with a neutral expression. The portrait is set within a circular frame.

福井県農政連 会長 岡田高太

新年あけましておめでとうございます。日頃より、本県農業の振興・発展と、需要に応じた米生産の取り組みについて、ご理解・ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。旧年中は、組合員の皆様をはじめ地域の皆

福井県の持続可能な農業を作り上げなければなりません。

福井県JAグループでは、昨年11月に第27回福井県JA大会を開催し、JAグループの存在意義やJAの目指す姿の実現に向

監查委員黑田宗雲  
吳林堅

JA福井県五連会長  
宮田幸

副 會 長 幸 池 享  
會 計 責 任 者 平 山 純 利

# 曲尺民政治

■発行所  
福井市大手3丁目2番18号  
農業会館内  
福井県農政連  
電話(0776)27-8265

■発行責任者  
伊 阪 民 裕

「食と農を支え、豊かな暮らしと活力ある社会を実現するために

A black and white portrait of a man with glasses, wearing a suit and tie, looking slightly to the left.

丁巳正月五連会長  
宮田幸

副 会 長 幸 池 享  
會 計 責 任 者 平 山 彌 利  
監 察 委 員 黒 田 宗 雲

消費者米価とともに高騰し過去最高値となっています。

一方、7年産米は主食米の収穫が748万トンとなり8年6月末の民間流通在庫予想は200万トンを大きく超過する事が予測され、8年産米の米価が大きく下落することが懸念されますが、昨年度放出した備蓄米の買戻しが価格安定の焦点となっています。高市内閣においては、需要に応じた生産ということで、8年産

地の保全にもたらす影響等も考えねばなりません。農政連は地域農業の振興に貢献していくと同時に、私たちの大切な資源である農地や農業従事者を守るために、政策提言や支援活動に全力を尽くしてまいります。

最後になりますが、午年の令和8年盟友皆様にとつて大きな飛躍の年、幸多い良い年となります事をご祈念申し上げ、年頭のご挨拶とします。

福井県の農業は、水田を中心とした米作りに加え、大豆、そば、六条大麦などの畑作、そして「福井梅」「上庄さといも」「吉川ナス」などの特産品に支えられています。これらは全国的にも高い評価を受けしており、地域農業の誇りです。



# 謹賀新年

南条支部支部長	大塚 与四郎
敦賀市支部支部長	齋 光雄
美浜町支部支部長	石丸 博治
若狭町支部支部長	吳 林 堅
小浜市支部支部長	幸 池 享
おおい町支部支部長	猿 橋 啓 一
高浜町支部支部長	井ノ元 康夫
県農協青年部会長	田 中 隆 藤
J A県女性協会会長	高 島 美津子



その後、各支部より直面している農政課題等について報告、要請があり、議員各位よりのご意見を頂きました。各地区共通の課題としては、農業後継者不足の問題、鳥獣害の農業被害の問題、再生産が出来る米をはじめとする農産物価格の問題、中山間地の農地維持に対する問題等があげられています。令和9年から始まる新たな農業政策の中で、予算を確保しながら各問題に対応が必要との認識で一致しました。

研修会では衆議院議員の前自民党幹事長の森山 裕氏が「これから日本の農業について」と題して講演し、今年閣議決定された今後5年間の「農業構造転換集中対策期間」で既存の予算とは別枠で2兆5000億円を確保する方針を示しました。また実質のスタートとなる補正予算でも農業予算の増額に向けて調整しているので活用してほしいと呼びかけました。

続いて参議院議員の東野秀樹氏は、

「直面する農政課題」について講演、食品産業センター理事長の荒川 隆氏には



**プロフィール**

1958年	福井県今立町に生まれる
1983年	京都大学を卒業
2017年	福井県立大学理学部長
2019年	福井県立大学理学部長
2021年	越前市市長初当選
2025年	無投票にて2選

①県民の農畜産物価格の理解醸成  
②経営の安定に向けた対策について  
③共同利用施設の再編集約について  
④水田農業対策について  
⑤園芸対策について  
⑥畜産対策について  
⑦鳥獣害対策について  
⑧7つの政策協定を結びました。

11月17日、第63回農政連幹部研修会を開催しました。研修会には農政連の支部長・分会長やJAの役職員200名が参集され、来賓として中村副知事、田中三津彦県議会副議長、山崎正昭参議院議員、他多くの県議会議員のご臨席を賜りました。

冒頭岡田会長の挨拶では、来年6月を目途に2027年度からの新たな水田政策を政府が策定するに当たり、我々が困っている事、農業をよくする為にやるべきことを積み上げて国に訴えて行きました。

研修会では衆議院議員の前自民党幹事長の森山 裕氏が「これから日本の農業について」と題して講演し、今年閣議決定された今後5年間の「農業構造転換集中対策期間」で既存の予算とは別枠で2兆5000億円を確保する方針を示しました。また実質のスタートとなる補正予算でも農業予算の増額に向けて調整しているので活用してほしいと呼びかけました。

続いて参議院議員の東野秀樹氏は、

「直面する農政課題」について講演、食品産業センター理事長の荒川 隆氏には

「改正基本法と今後の農政の展開方向」について講演を頂きました。

## 県議会農政議員団との意見交換会開催

10月28日(火)県農業会館にて、福井県農政連・県五連・JA福井県・JA越前たけふの役員と、県議会の農政議員団との意見交換会を開催しました。全国の農政をめぐる状況を、全国農政連金井副会長より説明頂き、福井県の情勢については、JA県中央会の小林英範部長より説明を頂きました。

その後、各支部より直面している農政課題等について報告、要請があり、議員各位よりのご意見を頂きました。各地区共通の課題としては、農業後継者不足の問題、鳥獣害の農業被害の問題、再生産が出来る米をはじめとする農産物価格の問題、中山間地の農地維持に対する問題等があげられています。令和9年から始まる新たな農業政策の中で、予算を確保しながら各問題に対応が必要との認識で一致しました。



## 第63回福井県農政連幹部研修会開催



県農政連では12月24日、県農業会館9階大ホールにて選挙対策委員会を開催し、令和8年1月の福井県知事選挙推薦候補者として南条支部・鯖江市支部より推薦申請されている山田賢一氏を全会一致で推薦決議しました。山田候補との政策協定では

1月の福井県知事選挙推薦候補者として南条支部・鯖江市支部より推薦申請されている山田賢一氏を全会一致で推薦決議しました。山田候補との政策協定では

1月の福井県知事選挙推薦候補者として南条支部・鯖江市支部より推薦申請されている山田賢一氏を全会一致で推薦決議しました。山田候補との政策協定では